

東証プライム 4631

DIC株式会社

2023年度第3四半期決算説明資料

2023年11月



FTSE Blossom
Japan



Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**
Powered by the S&P Global CSA



MSCI Japan ESG
Select Leaders Index



Color & Comfort

DIC株式会社

ハイライト

3 Qの振り返り

売上高

7,816億円

前年同期比 Δ **1.7%**

営業利益

132億円

前年同期比 Δ **59.9%**

2023年の見通し

下方修正

配当は変更なし

- カラー&ディスプレイの顔料製品は、主要市場である欧州での長引く景気停滞と米国での物価上昇による消費財の需要減の影響により、塗料用顔料やプラスチック用顔料の出荷低迷が続いた
- ファンクショナルプロダクツの電気・電子やディスプレイを中心とするデジタル分野の製品やモビリティを中心とするインダストリアル分野（※）の製品は、サプライチェーン上の余剰在庫の解消が進み、出荷数量の回復傾向が見られた。しかし、まだ需要回復の途上であり、全般的には低調に推移した

※インダストリアル分野とは、自動車、鉄道、船舶などのモビリティ用途と建設機械、産業機械などの一般工業用途に係る製品分野の総称

- 塗料用顔料やプラスチック用顔料などの顔料製品や、デジタルやモビリティに関連した高付加価値製品の出荷数量が減少したことに加え、顔料製品の在庫削減のため、米国と欧州の一部の生産拠点を一時的に稼働停止したことにより、大幅な減益

- 需要の本格的な回復に時間を要することから、売上高を1兆500億円に下方修正
- 欧州で長引く景気停滞と米国での物価上昇に伴う需要減により顔料製品の需要低迷が長期化。工場の稼働調整期間の延長により、営業利益を150億円に下方修正
- 配当は年間80円に変更なし

当社グループの決算期は、海外子会社・国内会社ともに1月1日から12月31日までの12ヶ月を連結対象期間としています。当期は、2023年1月1日から9月30日までの9ヶ月間を連結対象期間として記載しています。

セグメント別 営業利益見通し

(億円)

	2023年度 8月見通し	2023年度			今回見通し	前回差
		上期	3Q	4Q 見通し		
パッケージング & グラフィック	200	83	56	53	192	△ 8
カラー & ディスプレイ	△ 16	△ 1	△ 43	△ 52	△ 97	△ 80
ファンクショナルプロダクツ	178	67	46	46	158	△ 20
その他、全社・消去	△ 112	△ 48	△ 27	△ 28	△ 103	8
連結合計	250	100	32	18	150	△ 100

- 印刷インキについて海外で販売価格を維持したこと、国内で価格対応が進展し収益性が改善したことにより前回見通しに近い利益を確保
- 欧米を中心とした需要減少は底打ち感はあるが、実需に力強さが無く、回復は2024年にずれ込む見通し。当社も在庫削減を優先し、4Qも工場の稼働調整を実施
- サプライチェーン上の余剰在庫の解消が進み、出荷数量の回復傾向が見られたが、前回見通しよりも回復スピードは緩やか

セグメント別 主要製品の四半期出荷数量の前年同期比推移

パッケージング&グラフィック（パッケージ用インキ、出版用インキ※）

2022年				2023年		
1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月
+0%	△0%	△4%	△9%	△8%	△10%	△8%

- 物価上昇の影響を受け消費財の需要が低調となり、出荷数量が停滞
- 中国においてパッケージ用インキや出版用インキの拡販により7-9月期から出荷数量が増加

※新聞インキを含む

カラー&ディスプレイ（顔料製品※）

2022年				2023年		
1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月
△5%	△11%	△19%	△28%	△18%	△17%	△11%

- 欧州や米国において需要の低迷が続いた。出荷数量の減少に底打ち感はあるが、実需に力強さが無く、回復は24年度以降の見通し

※2022年の前年同期比の計算からはC&Eを除外しているが、2023年からは計算に含めている

ファンクショナルプロダクト（パフォーマンスマテリアル製品※）

2022年				2023年		
1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月
△6%	△6%	△5%	△10%	△15%	△10%	△4%

- モビリティを中心とするインダストリアル分野では、サプライチェーン上の余剰在庫の解消が進み、緩やかではあるが出荷数量の回復傾向が見られた

※上場子会社と2022年7月に買収した広東TOD社、2023年6月に買収したPCAS Canada社の数量は除外

連結損益計算書

(億円)	2022 3Q	2023 3Q	増 減	増減比	現地通貨ベース 増減比
売上高	7,952	7,816	△ 135	△1.7%	△5.7%
売上原価	△ 6,391	△ 6,400	△ 9		
販売費及び一般管理費	△ 1,232	△ 1,285	△ 53		
営業利益	329	132	△ 197	△59.9%	△57.3%
営業利益率	4.1%	1.7%	-		
金融収支	△ 16	△ 40	△ 24		
持分法投資損益	18	18	△ 1		
為替差損益	26	△ 11	△ 37		
その他	△ 1	△ 6	△ 6		
経常利益	356	91	△ 265	△74.3%	-
特別利益	24	19	△ 4		
特別損失	△ 58	△ 41	17		
税前利益	322	70	△ 252		
法人税等	△ 132	△ 91	42		
四半期純利益	189	△ 21	△ 210		
非支配株主に帰属する四半期純利益	△ 11	△ 7	4		
親会社株主に帰属する四半期純利益	178	△ 28	△ 206	赤字化	-
EBITDA*	681	493	△ 187	△27.5%	-

特別損益の内訳	2022 3Q	2023 3Q
特別利益		
固定資産売却益	9	10
投資有価証券売却益	4	6
受取保険金	-	3
受取和解金	11	-
特別損失		
固定資産処分損	△ 16	△ 16
リストラ関連退職損失	△ 26	△ 15
減損損失	△ 11	△ 10
事業撤退損	△ 6	-

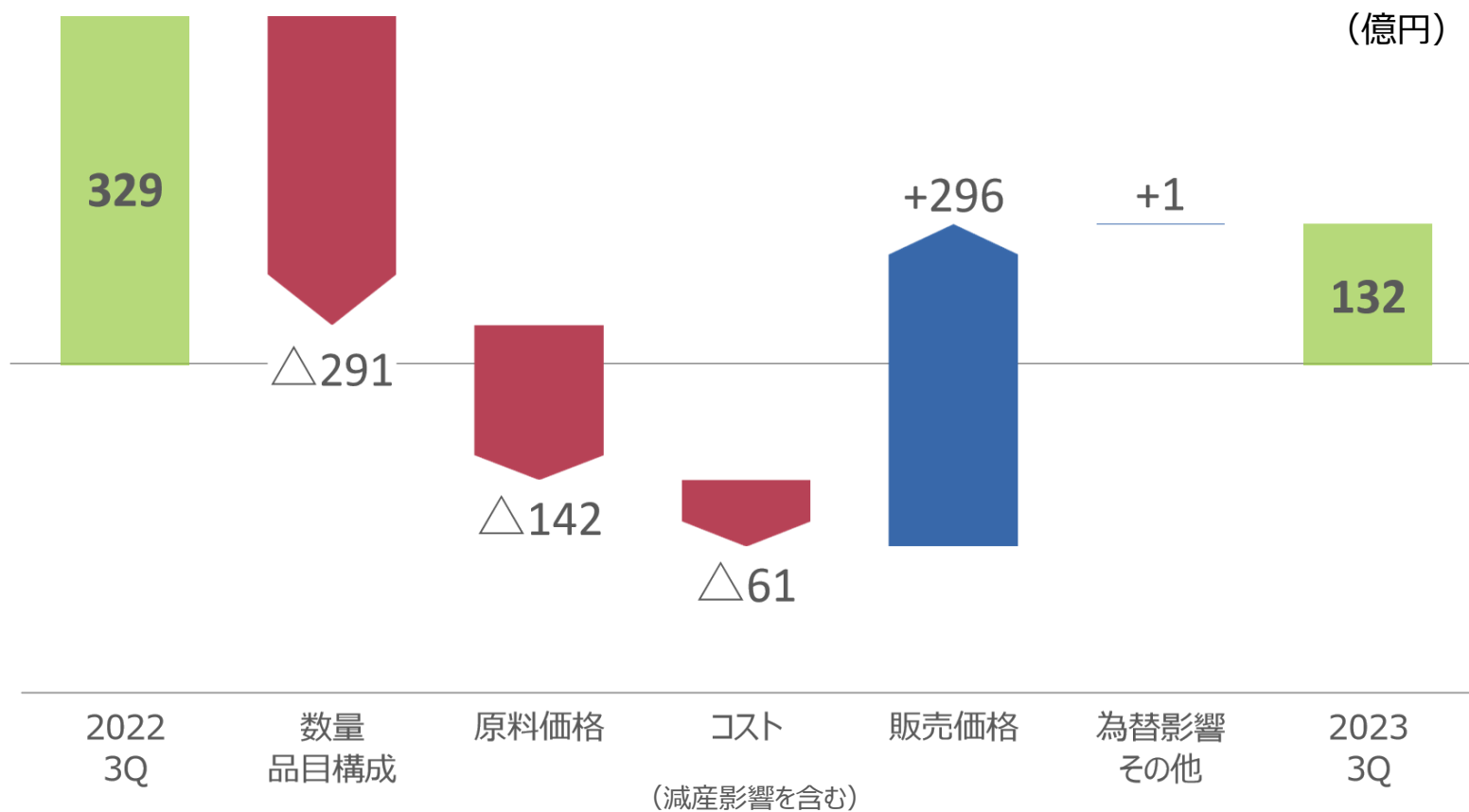
■ 平均レート

	2022 3Q	2023 3Q
USD/円	127.87	138.81
EUR/円	136.26	150.37

*EBITDA：親会社株主に帰属する四半期純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額

営業利益増減要因

- 顔料製品の出荷数量が主要市場である欧州の景気停滞により大幅に減少した。出荷の低迷が続く顔料製品の在庫削減のため、米国と欧州の一部の生産拠点を一時的に稼働停止したことにより、大幅な減益



財務体質

- 欧米での在庫削減により営業キャッシュフローは大幅に改善
- ネット有利子負債は、2Q末5,014億円を3Q末で4,853億円に圧縮
- 更なる運転資本の削減により、2023年度末のネット有利子負債は4,680億円に削減する計画

(億円)	2022 期末	2023 3Q末	増減
ネット有利子負債	4,459	4,853	394
自己資本	3,870	4,185	315
ネットD/Eレシオ *	1.15倍	1.16倍	
自己資本比率	30.7%	31.2%	
1株当たり純資産 (円)	4,088.60	4,420.94	

■ 期末レート

	2022 期末	2023 3Q末
USD/円	132.63	149.17

* ネットD/Eレシオ： ネット有利子負債／自己資本

セグメント別業績

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2022 3Q	2023 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2022 3Q	2023 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2022 3Q	2023 3Q
パッケージング&グラフィック	3,973	4,050	76	+ 1.9%	△2.4%	138	139	1	+ 0.7%	+ 3.3%	3.5%	3.4%
日本	955	917	△ 38	△4.0%	△4.0%	34	29	△ 5	△15.8%	△15.8%	3.6%	3.1%
米州・欧州	2,512	2,626	114	+ 4.6%	△1.5%	83	82	△ 0	△0.4%	+ 4.5%	3.3%	3.1%
アジア他	626	608	△ 18	△2.9%	△6.3%	22	28	6	+ 25.7%	+ 23.2%	3.5%	4.5%
連結調整	△ 120	△ 102	18	-	-	△ 1	0	1	-	-	-	-
カラー & ディスプレイ	1,953	1,756	△ 197	△10.1%	△15.9%	72	△ 44	△ 116	赤字化	赤字化	3.7%	-
日本	272	243	△ 29	△10.7%	△10.7%	41	34	△ 7	△16.5%	△16.5%	15.1%	14.1%
海外	1,791	1,624	△ 167	△9.3%	△16.0%	30	△ 79	△ 109	赤字化	赤字化	1.7%	-
連結調整	△ 111	△ 111	△ 0	-	-	0	△ 0	△ 0	-	-	-	-
ファンクショナルプロダクト	2,345	2,288	△ 57	△2.4%	△4.4%	188	112	△ 76	△40.4%	△41.8%	8.0%	4.9%
日本	1,614	1,514	△ 100	△6.2%	△6.2%	123	46	△ 77	△62.5%	△62.5%	7.6%	3.0%
海外	964	974	10	+ 1.0%	△4.0%	67	66	△ 1	△1.0%	△6.7%	6.9%	6.8%
連結調整	△ 233	△ 200	33	-	-	△ 1	0	1	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 320	△ 277	42	-	-	△ 70	△ 75	△ 5	-	-	-	-
連結合計	7,952	7,816	△ 135	△1.7%	△5.7%	329	132	△ 197	△59.9%	△57.3%	4.1%	1.7%
USD/円	127.87	138.81		+ 8.6%		127.87	138.81		+ 8.6%			
EUR/円	136.26	150.37		+ 10.4%		136.26	150.37		+ 10.4%			

パッケージング&グラフィック

売上高

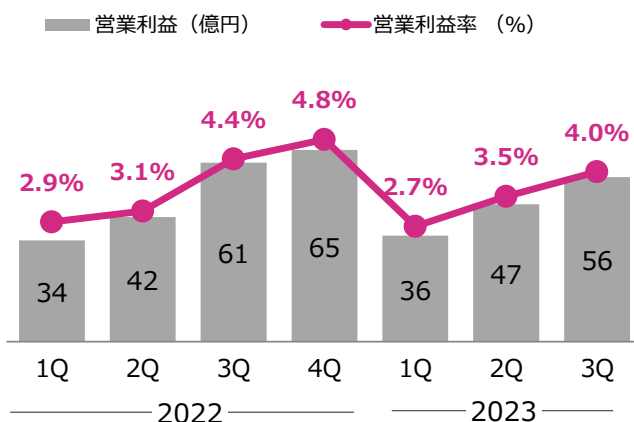
- 物価上昇の影響により消費財の需要が低調となり出荷数量が減少。中国では新規顧客開拓により3Q（7-9月）から出荷数量が増加

営業利益

- 日本では高付加価値製品であるジェットインキの出荷数量が落ち込んだことで減益
- 米州や欧州では販売価格の維持に努めた結果、現地通貨ベースでは増益となったが、新興国通貨安の影響により前年並みとなった
- アジアでは中国においてパッケージ用インキや出版用インキの拡販に努め、増益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2022 3Q	2023 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2022 3Q	2023 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2022 3Q	2023 3Q
パッケージング&グラフィック	3,973	4,050	76	+ 1.9%	△2.4%	138	139	1	+ 0.7%	+ 3.3%	3.5%	3.4%
日本	955	917	△ 38	△4.0%	△4.0%	34	29	△ 5	△15.8%	△15.8%	3.6%	3.1%
米州・欧州	2,512	2,626	114	+ 4.6%	△1.5%	83	82	△ 0	△0.4%	+ 4.5%	3.3%	3.1%
アジア他	626	608	△ 18	△2.9%	△6.3%	22	28	6	+ 25.7%	+ 23.2%	3.5%	4.5%
連結調整	△ 120	△ 102	18	-	-	△ 1	0	1	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

製品	増減比	説明
パッケージ用インキ*	△1%	物価上昇の影響を受け消費財の需要が低調となり、中国を除く各地域で出荷数量が減少した。価格対応に努め、売上高は前年並みとなった
出版用インキ*	△4%	日本では価格対応に努め増収、米州や欧州とアジアでは減収となった
ジェットインキ	+ 1%	海外顧客の需要低迷により出荷数量は減少したが、円安による換算影響により前年並みとなった
ポリスチレン	△13%	食品価格の値上がりにより食品包装用の需要が減少し、減収
多層フィルム	+ 5%	食品価格の値上がりにより食品包装用の需要が減少したが、価格改定による単価上昇により増収

*現地通貨ベース増減比

カラー&ディスプレイ

売上高

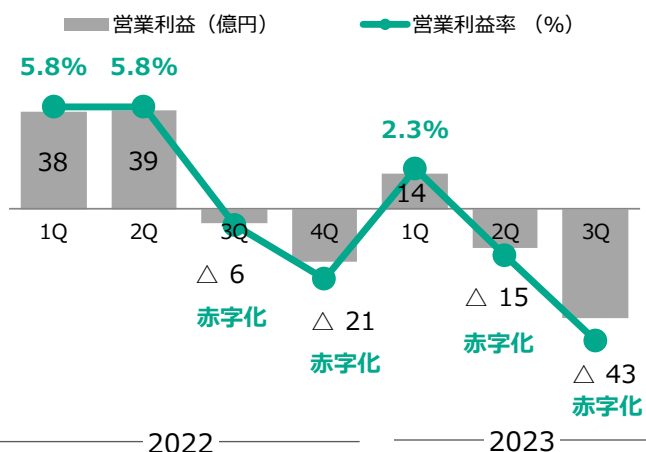
- 主要市場である欧州の景気停滞と米国での物価上昇の影響などにより顔料製品の需要が減少したこと、顧客による在庫調整の動きが続いたことから、塗料用顔料やプラスチック用顔料を中心に出荷数量が減少し減収となった。塗料用顔料のうち、建築向けや工業向けの顔料は景気停滞の影響を特に大きく受けた

営業利益

- 欧米での高金利と持続的なインフレのため顔料製品の需要低迷が長期化。在庫削減のため米国と欧州の一部生産拠点を一時的に稼働停止したことにより、大幅な減益。在庫レベルの適正化、コストの合理化を進め、成長軌道への早期回帰を図る

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2022 3Q	2023 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2022 3Q	2023 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2022 3Q	2023 3Q
カラー&ディスプレイ	1,953	1,756	△ 197	△10.1%	△15.9%	72	△ 44	△ 116	赤字化	赤字化	3.7%	-
日本	272	243	△ 29	△10.7%	△10.7%	41	34	△ 7	△16.5%	△16.5%	15.1%	14.1%
海外	1,791	1,624	△ 167	△9.3%	△16.0%	30	△ 79	△ 109	赤字化	赤字化	1.7%	-
連結調整	△ 111	△ 111	△ 0	-	-	0	△ 0	△ 0	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

顔料	塗料用	増減比	説明
顔料	塗料用	+ 2%	景気停滞による需要減少が見られ、出荷数量が落ち込んだが円安による為替換算影響により増収
	プラスチック用	+ 3%	景気停滞による需要減少が見られ、出荷数量が落ち込んだが円安による為替換算影響により増収
	インキ用	△8%	景気停滞による需要減少が見られ、出荷数量が落ち込んだ
	化粧品用	+ 20%	米国や欧州などでは景況感の悪化により伸び悩んだが、アジアでは引き続き需要が回復した
	ディスプレイ用	+ 22%	パネルの在庫調整が終了し、出荷数量は平常ベースに回復
	スペシャリティ用	+ 7%	農業向けの在庫調整に加え、建築向けは欧州で出荷数量が減少したが、為替換算影響により増収
	ヘルスケア食品	△10%	欧米の景気減速により需要が減少した

ファンクショナルプロダクツ

売上高

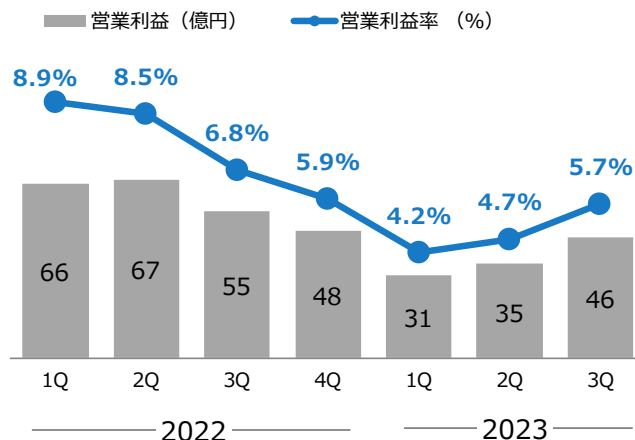
- 自動車生産の回復にともなってアクリル樹脂やPPSコンパウンド等の関連製品の出荷数量に回復が見られた。半導体を主用途とするエポキシ樹脂は、市況に底打ちの兆しが見られ、一部の品目の出荷が上向いた。しかしセグメント全体としては回復に力強さを欠いており、出荷数量は低位に留まった

営業利益

- ほとんどの品目で出荷数量の減少が底打ちし収益性は回復しつつあるが、回復スピードは緩やか。高付加価値製品の出荷が低調に推移し、大幅な減益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2022 3Q	2023 3Q	増減	増減比	現地通貨ベース増減比	2022 3Q	2023 3Q	増減	増減比	現地通貨ベース増減比	2022 3Q	2023 3Q
ファンクショナルプロダクツ	2,345	2,288	△ 57	△2.4%	△4.4%	188	112	△ 76	△40.4%	△41.8%	8.0%	4.9%
日本	1,614	1,514	△ 100	△6.2%	△6.2%	123	46	△ 77	△62.5%	△62.5%	7.6%	3.0%
海外	964	974	10	+ 1.0%	△4.0%	67	66	△ 1	△1.0%	△6.7%	6.9%	6.8%
連結調整	△ 233	△ 200	33	-	-	△ 1	0	1	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

製品名	増減比	製品名	増減比
エポキシ樹脂	△15%	PPSコンパウンド	+ 10%
ウレタン樹脂	△11%	工業用テープ	+ 1%
アクリル樹脂*	+ 34%	中空糸膜モジュール	+ 8%
水性樹脂*	+ 1%		
ポリエステル樹脂*	+ 6%		
UV硬化型樹脂	△3%		

エポキシ樹脂は、サーバーや基地局向けの用途で回復傾向が見られたが、全体としては低調に推移した。自動車用途では、アクリル樹脂、水性樹脂、PPSコンパウンド等の関連製品で緩やかな回復が見られたものの、本格回復には至っていない

* 2022年7月に買収した中国のコーティング用樹脂メーカー「Guangdong DIC TOD Resins Co., Ltd.」の売上が加わり増収

2023年度：通期の業績見通し

(億円)	2022	2023 見通し	増減比	現地通貨 ベース 増減比	前回見通し
売上高	10,542	10,500	△0.4%	△2.6%	10,600
営業利益	397	150	△62.2%	△56.5%	250
営業利益率	3.8%	1.4%	-	-	2.4%
経常利益	399	90	△77.5%		200
親会社株主に帰属する当期純利益	176	△90	赤字化		40
1株当たり純利益(円)	186.05	△95.08	-		42.26
EBITDA* ¹	855	600	△29.8%		700
設備投資・投融資	811	747	△7.9%		827
減価償却費・のれん償却額	488	530	+ 8.6%		500
平均レート					
USD/円	130.59	141.00	+ 8.0%		140.00
EUR/円	137.71	153.00	+ 11.1%		151.00

	2022	2023 見通し
ROIC* ²	3.6%	1.2%
ネットD/ELシオ* ³	1.15倍	1.13倍
年間配当/株(円)	100.0	80.0
配当性向	53.7%	-

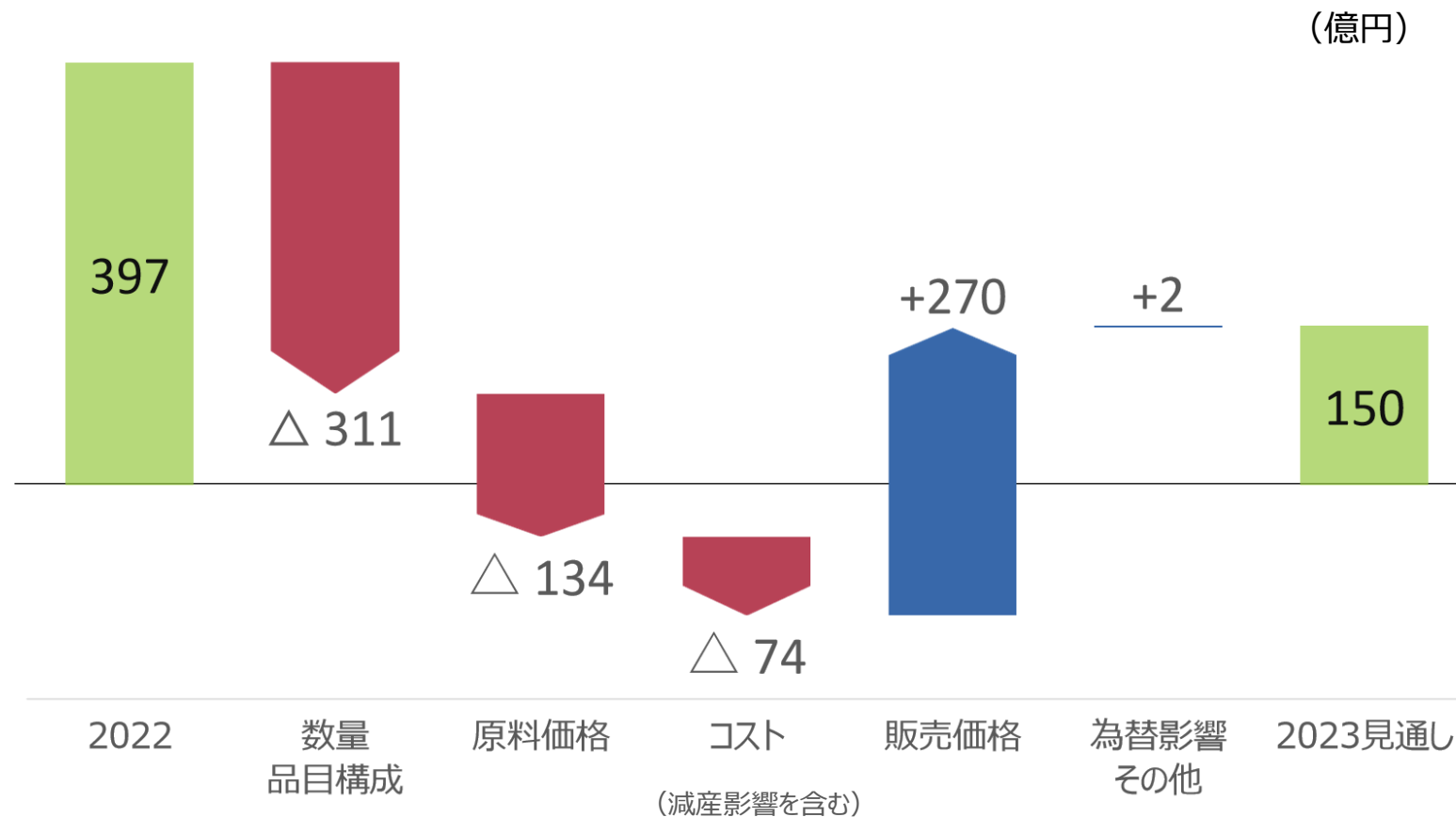
*²ROIC：営業利益×(1-実効税率28%) / (ネット有利子負債+純資産)

*³ネットD/ELシオ：ネット有利子負債/自己資本

*¹EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益+法人税等合計+支払利息-受取利息+減価償却費+のれん償却額

2023年度：営業利益増減要因

- 顔料製品の出荷数量減少とファンクショナルプロダクツの高付加価値製品の出荷数量減少により、数量品目構成が悪化
- 在庫削減を目的とした米国と欧州の顔料生産拠点の稼働調整期間が想定よりも長引いており、減産に伴う損益への影響が拡大
- 高コストの在庫を十分に削減するとともに、追加的な合理化施策を実施。来期の収益性改善を確実なものとする



2023年度：通期のセグメント別業績見通し

(億円)	売上高				営業利益				営業利益率		前回見通し	
	2022	2023 見通し	増減	増減比	2022	2023 見通し	増減	増減比	2022	2023 見通し	2023 売上高	2023 営業利益
パッケージング & グラフィック	5,330	5,469	139	+ 2.6%	203	192	△ 11	△ 5.5%	3.8%	3.5%	5,456	200
日本	1,277	1,238	△ 39	△ 3.0%	42	42	△ 1	△ 1.6%	3.3%	3.4%	1,252	45
米州・欧州	3,374	3,535	161	+ 4.8%	127	109	△ 18	△ 14.1%	3.8%	3.1%	3,520	115
アジア他	841	828	△ 13	△ 1.5%	34	42	7	+ 21.1%	4.1%	5.0%	839	40
連結調整	△ 162	△ 133	29	-	△ 0	0	0	-	-	-	△ 155	0
カラー & ディスプレイ	2,482	2,326	△ 156	△ 6.3%	51	△ 97	△ 148	赤字化	2.1%	-	2,405	△ 16
日本	347	327	△ 21	△ 5.9%	47	45	△ 2	△ 3.4%	13.5%	13.9%	341	51
海外	2,271	2,137	△ 135	△ 5.9%	3	△ 142	△ 146	赤字化	0.1%	-	2,202	△ 68
連結調整	△ 137	△ 138	△ 1	-	1	0	△ 1	-	-	-	△ 138	0
ファンクショナルプロダクツ	3,154	3,078	△ 76	△ 2.4%	236	158	△ 78	△ 33.1%	7.5%	5.1%	3,142	178
日本	2,169	2,023	△ 146	△ 6.7%	147	69	△ 78	△ 53.2%	6.8%	3.4%	2,047	90
海外	1,288	1,316	28	+ 2.2%	89	89	△ 0	△ 0.2%	6.9%	6.8%	1,351	88
連結調整	△ 303	△ 261	42	-	△ 0	0	0	-	-	-	△ 256	0
その他、全社・消去	△ 424	△ 373	51	-	△ 94	△ 103	△ 10	-	-	-	△ 403	△ 112
連結合計	10,542	10,500	△ 42	△ 0.4%	397	150	△ 247	△ 62.2%	3.8%	1.4%	10,600	250
USD/円	130.59	141.00		+ 8.0%	130.59	141.00		+ 8.0%			140.00	140.00
EUR/円	137.71	153.00		+ 11.1%	137.71	153.00		+ 11.1%			151.00	151.00

主なトピックス (2023年8月～2023年11月)

ニュースリリース
<https://www.dic-global.com/ja/news/2023/> 

- 8月 神戸市と「クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス（CLOMA）」ワーキンググループ活動において、ポリスチレン素材の乳酸菌飲料容器の再資源化に向けた連携協定を締結
 - 他社や自治体との協業や連携を強化し、サプライチェーン全体をつないだ完全循環型リサイクルの社会実装を目指す
- 9月 当社の上場子会社である星光PMC株式会社の譲渡を決定
 - 星光PMC株式会社が自己株式取得により当社所有株式の全てを取得予定
- 9月 千葉銀行との間でサステビリティ・リンク・ローンを実行
- 10月 みずほ銀行との間で同行をアレンジャーとしたシンジケーション方式によるサステビリティ・リンク・ローンに関する契約を締結
- 10月 代表取締役等の異動を発表
- 11月 内装建材用塗料事業の譲渡契約締結

事業セグメントと主要製品

2022年度実績数値

提供価値

パッケージング&グラフィック



売上高
5,330億円



営業利益・率
203億円
3.8%

包装材料を通じて社会や暮らしに「安全・安心」を提供する

カラー&ディスプレイ



売上高
2,482億円



営業利益・率
51億円
2.1%

表示材料を通じて社会や暮らしに「彩り」を提供する

ファンクショナルプロダクツ



売上高
3,154億円



営業利益・率
236億円
7.5%

機能材料を通じて社会や暮らしに「快適」を提供する

主要製品

パッケージ用インキ



包装材料

←ポリスチレン
↓多層フィルム

接着剤



ジェットインキ



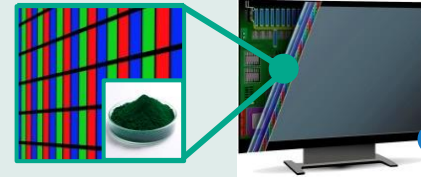
屋外看板用途



バナー用途



ディスプレイ用顔料



化粧品用顔料



スペシャリティ用顔料



農業用途



建材用途

天然系色素



塗料用顔料

プラスチック用顔料

インキ用顔料



◆電気・電子やディスプレイを中心とするデジタル分野◆



UV硬化型樹脂

工業用テープ



エポキシ樹脂



中空糸膜モジュール



◆モビリティ（自動車など）を中心とする工業分野◆

水性樹脂
アクリル樹脂

ウレタン樹脂
ポリエステル樹脂

PPSコンパウンド



セグメント別四半期業績推移 (参考)

(億円)	売上高							営業利益						
	2022 1Q	2022 2Q	2022 3Q	2022 4Q	2023 1Q	2023 2Q	2023 3Q	2022 1Q	2022 2Q	2022 3Q	2022 4Q	2023 1Q	2023 2Q	2023 3Q
パッケージング&グラフィック	1,209	1,366	1,399	1,357	1,315	1,350	1,384	34	42	61	65	36	47	56
日本	298	328	328	322	304	311	303	8	15	12	8	5	12	12
米州・欧州	753	868	891	862	862	873	891	21	23	39	44	26	29	27
アジア他	195	213	219	215	190	199	219	6	8	8	12	7	7	14
連結調整	△ 37	△ 44	△ 39	△ 42	△ 40	△ 33	△ 29	0	△ 3	2	1	△ 1	△ 1	2
カラー&ディスプレイ	662	676	614	530	605	574	577	38	39	△ 6	△ 21	14	△ 15	△ 43
日本	91	102	79	75	81	83	79	15	21	5	6	10	14	10
海外	610	613	569	480	555	533	536	24	17	△ 11	△ 27	4	△ 29	△ 53
連結調整	△ 38	△ 38	△ 34	△ 26	△ 31	△ 42	△ 38	△ 1	1	0	0	0	0	△ 0
ファンクショナルプロダクツ	742	791	813	809	734	759	794	66	67	55	48	31	35	46
日本	520	556	538	555	500	508	506	43	46	33	24	11	13	21
海外	295	317	352	324	298	319	357	23	22	22	23	19	21	26
連結調整	△ 73	△ 82	△ 78	△ 70	△ 64	△ 68	△ 69	0	△ 1	0	1	0	1	△ 1
その他、全社・消去	△ 103	△ 128	△ 88	△ 105	△ 102	△ 83	△ 92	△ 21	△ 27	△ 22	△ 24	△ 21	△ 27	△ 27
連結合計	2,510	2,705	2,737	2,590	2,552	2,601	2,663	117	122	89	68	60	40	32

連結貸借対照表 (参考)

(億円)	2022 期末	2023 3Q末	増 減
流動資産	6,600	6,807	208
有形固定資産	3,535	3,888	353
無形固定資産	788	928	141
投資その他の資産	1,694	1,806	113
資産合計	12,616	13,430	814
流動負債	3,899	4,097	198
固定負債	4,507	4,793	287
負債合計	8,405	8,890	484
株主資本	4,118	3,996	△ 122
その他の包括利益累計額 (為替換算調整勘定)	△ 248 (△ 173)	189 (293)	437 (466)
非支配株主持分	341	355	15
純資産合計	4,211	4,540	329
負債純資産合計	12,616	13,430	814
有利子負債残高	5,093	5,715	622
現預金残高	634	862	228
ネット有利子負債	4,459	4,853	394

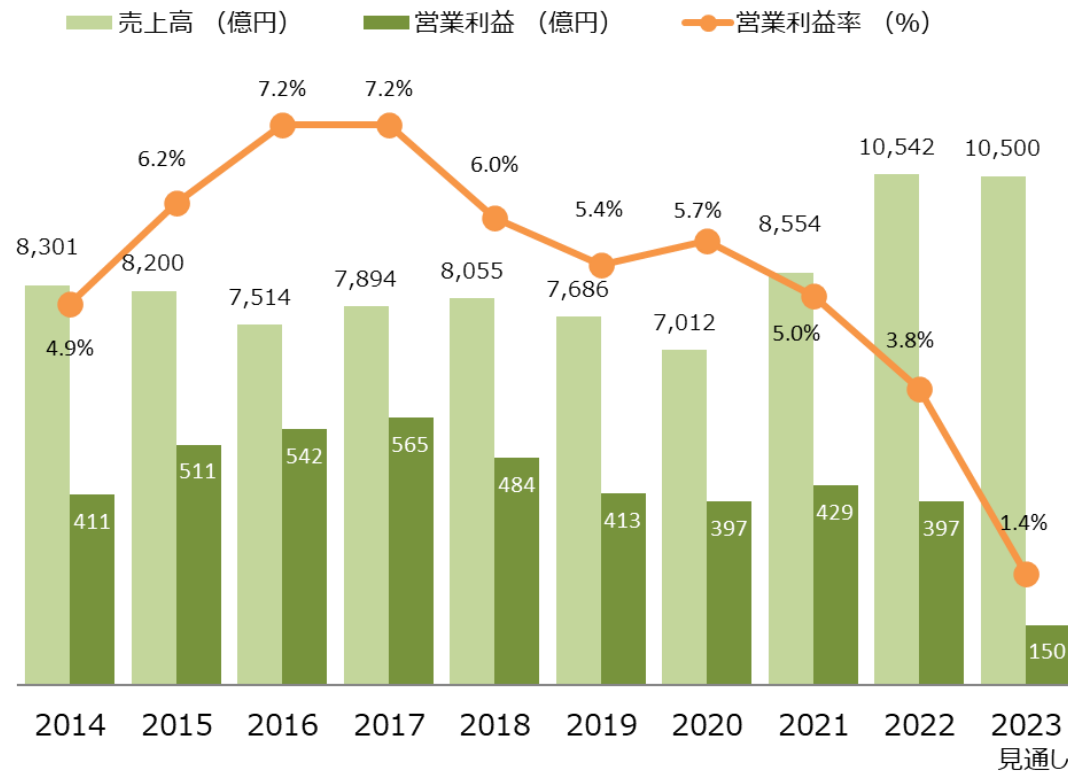
連結キャッシュ・フロー計算書（参考）

(億円)	2022 3Q	2023 3Q	増 減
営業キャッシュ・フロー	△ 191	401	592
投資キャッシュ・フロー	△ 599	△ 599	1
財務キャッシュ・フロー	891	347	△ 544
現金及び現金同等物の期末残高	678	826	148
フリーキャッシュ・フロー	△ 790	△ 198	592
運転資本の増減額	△ 655	211	867
設備投資・投融資	658	598	△ 60
減価償却費・のれん償却額	354	390	36

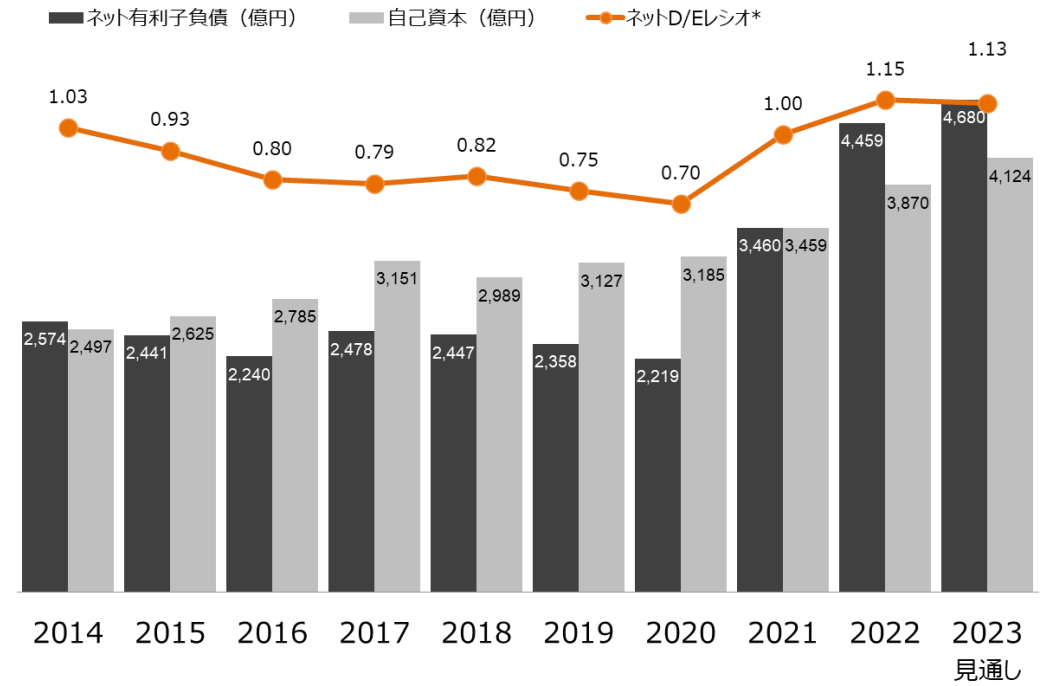
注) 連結キャッシュ・フロー計算書は、レビュー対象外のため参考情報です。

業績の推移 (参考)

業績



財務体質

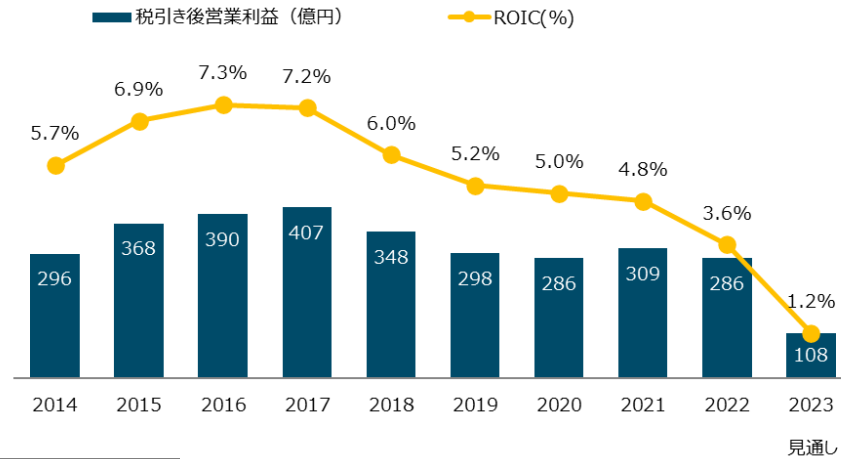


* ネットD/Eレシオ： ネット有利子負債 / 自己資本

業績の推移 (参考)

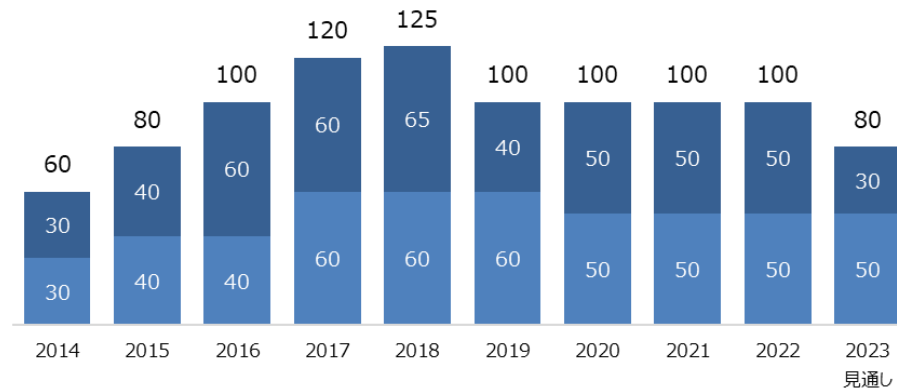
ROIC*

*ROIC : 営業利益 × (1 - 実効税率28%) / (ネット有利子負債 + 純資産)



株主還元*

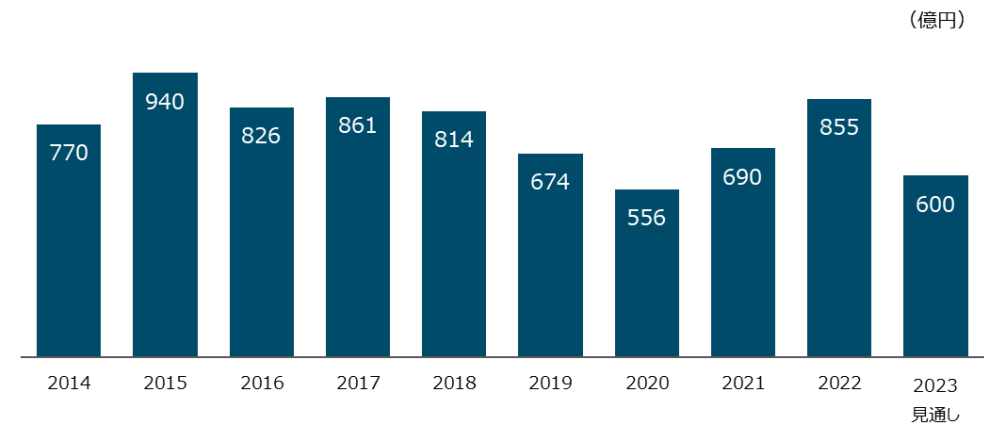
■ 中間 (円) ■ 期末 (円)



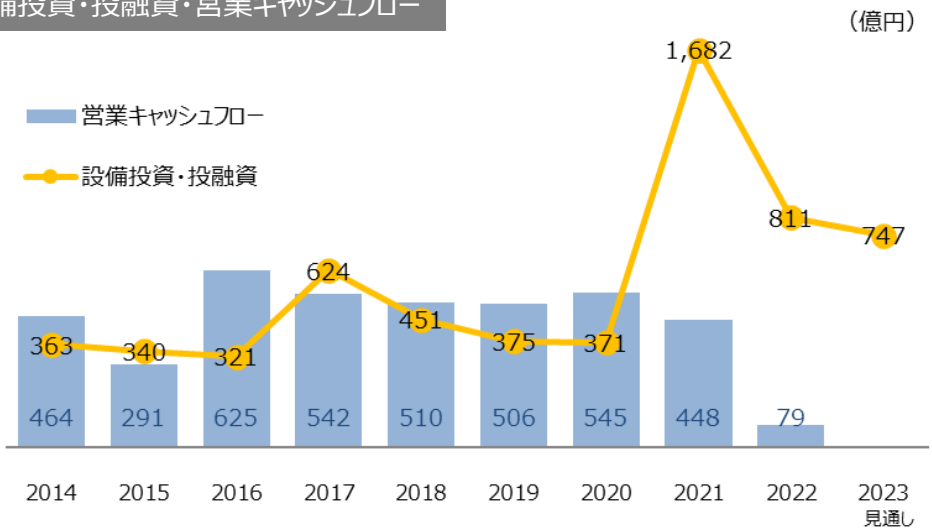
配当性向 22.4% 20.5% 27.3% 29.4% 36.9% 40.3% 71.5% 216.8% 53.7% -

EBITDA*

*EBITDA : 親会社株主に帰属する当期純利益 + 法人税等合計 + 支払利息 - 受取利息 + 減価償却費 + のれん償却額



設備投資・投融資・営業キャッシュフロー



* 株式併合の影響を調整しています

<予想に関する注意事項>

本資料は、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではありません。
業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しですが、
実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。

本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、
当社は責任を負うものではありません。



Color & Comfort



DIC Corporation